

川崎重工グループ研究開発方針

1. 基本的な考え方

川崎重工グループは、社会課題の解決に向けた新たな価値創造を社会的責任であると認識するとともに、顧客の満足する機能を備えた製品やサービスを提供し続けることを事業継続に関わる重要な経営課題と考えています。当社グループの全組織が将来にわたる企業価値向上に向けて、持ち得る技術を結集するとともに「技術のシナジー」の活用を追求し、社会課題の解決に向けた「既存製品の強化」や「新製品・新事業の創出」を目的とした研究開発を行うために、以下のとおり研究開発方針を定め、適切な運営を行います。

2. 研究開発方針

(1) 研究開発活動

川崎重工グループは、「既存製品の強化」および「新製品・新事業の創出」を目指して、グループの総合力を活かしながら「新技術」の開発および「基盤技術」の育成・強化に取り組みます。

(2) 法令遵守

川崎重工グループの研究開発にあたり、法令ならびに関係者との契約上の義務を遵守します。また、第三者の知的財産を不正に使用しません。

(3) 研究開発の方法

カンパニーの技術者と技術開発本部のさまざまな分野の専門家がプロジェクトチームを組んで課題を共有し、常に全体最適を目指して「既存製品の強化」および「新製品・新事業の創出」に向けた研究開発に取り組みます。また、各カンパニーが保有する技術的なコア・コンピタンスを、技術開発本部が仲介して他のカンパニーの製品へ相互に活用することで、技術の多面的な展開が可能となり、大きなシナジー効果を発揮します。

(4) 研究開発の効率化

川崎重工グループが保有する技術的なコア・コンピタンスをグループ内の製品へ相互に活用し、技術の多面的な展開により大きなシナジー効果を発揮します。

当社グループ内での研究開発のみならず、オープンイノベーションを活用し、国内外の大学や研究機関などの最先端の技術も活用します。また、他企業とのコラボレーションも積極的に推進します。

(5) 研究開発の審査・フォロー

重要な研究開発については、技術開発本部長あるいは技術担当役員を委員長とする会議体において、研究開発状況や継続可否などのフォローアップを実施します。

制定 2021年9月

以上